

様式－2

令和元年度 T A C取組事例報告
(J A 利根沼田)

タイトル	「畜産農家の経営継承と補助事業活用の取り組みについて」
(報告者) 畜産部 酪農畜産課 石田 卓	
T A Cまたは営農渉外等歴: 15年目(平成16年 4月 1日～令和元年12月31日)	
担当担い手数: 25件 (面談回数50件/月以上を12ヶ月)	
<対象となる地域農業の担い手の営農状況> ①活動時期: 令和元(平成31)年 1月 ～ 令和 元年 12月 ②地域農業の担い手 ・類型: 農業生産法人 営農組合 <u>若手農業者</u> その他 () ・主要作物: 酪農、肉牛、養豚 ・栽培面積: a or ha ・他特徴: 当地区は標高350m～900mの中山間地に位置し、四季がはっきりしたのが特徴で養豚、酪農、肉牛等昔から畜産が盛んな地域で特に酪農が2組合で生乳1日90トン、和牛子牛年間約500頭の出荷があります。	
<対象となる担い手に提案するに至った背景…担い手のニーズ> 当J A管内の畜産事業は、農家の高齢化、環境問題等により年々農家の廃業が進み減少している。畜産は周年拘束性が高く、労働負担が大きい作業が多いため、若手後継者が就農し経営継承するためには、省力化機械装置の整備や協業化の推進等により労働条件を改善する必要がある。省力化機械装置・設備等の整備には、多額の費用にばかり就農する後継者は少ない。 このような状況の中、J Aの畜産事業を維持・拡大をはかるためには、後継者の就農促進が最も重要な課題である。省力化施設整備について、補助事業活用の取り組みを積極的におこない、畜産農家の経営継承を支援する。	
<取組内容・提案内容> ・畜産クラスター事業の取り組み(年度別実施農家数・事業費) 平成30年度 小林一太・田村和敏牧場 21,320千円、令和元年度 (株)川田牧場他7件 90,999千円 ・J A畜産経営継承支援事業の取り組み(年度別実施農家数・事業費) 令和元年度 1農場(酪農)、令和2年度 2農場(肉牛)、令和3年度 1農場(肉牛) 18,000千円 ・税務指導(個別)	
<担い手にとっての成果> 担い手にとっての成果など記入。(数値結果もあればあわせて記入) ・親子間の話し合いによるスムーズな継承 ・施設整備による作業の合理化・効率化 ・税務指導による節税対策 ・自給飼料作付面積の拡大による飼料費の削減 ・婚活イベントへの参加支援	
<担い手の評価・声> ・大型機械・省力化施設整備の導入により作業の合理化・効率化が図られて、生産性は向上した。 ・自給飼料の作付け面積が増大し、生産コストが削減した。 ・税務指導により節税することができた。	
<J Aにとっての成果> ・J A畜産事業の維持・拡大 11月末実績 牛乳 1,159,559千円(前年比109%)、飼料 460,176千円(前年比110%)	